

旭川市では災害の少なさや  
冷涼な気候を活かしたデータセンターの誘致に取り組むとともに、  
各教育機関が集積する強みを活かし  
「IT関連産業」の誘致に重点的に取り組んでいます。



IT 関連産業の最適地

北海道 ◆ 旭川市

旭川市内中心部

お問い合わせ先

旭川市経済部企業立地課  
〒070-8525 北海道旭川市6条通10丁目第三庁舎3階  
TEL:0166-25-9172 FAX:0166-26-7093  
E-mail:kigyoritichi@city.asahikawa.lg.jp

旭川地域企業誘致東京サテライトオフィス  
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 永田町ほっかいどうスクエア3階311号室  
TEL:03-6206-1665 FAX:03-6206-1675  
E-mail:tokyo\_office@city.asahikawa.lg.jp





# 立地企業インタビュー

## ① 自社について

WEBシステム開発とネットワーク構築に精通し、国内メーカーの試作品制作や道内の自治体や大企業、中小事業者までシステムやECサイト、HP制作等、IT全般の仕事を請負っています。顧客のニーズを満たす安価で高品質なデザイン&サービスは好評を得ています。最近は地域振興を目的としたITに触れるカフェイベントを実施し、道内の自治体から他の企業では予算・スキルで上手く行かない難易度の高い仕事を引き受けたり、製造業向けIoTソリューションを大学との共同研究開発でものづくり改革プロジェクト行うなど、それぞれの地域振興に寄り添っている社会貢献意識の高い企業として活躍しています。経営の根本がITテクノロジーで常に最先端に挑戦し続けることであり、現在も進化しているところが強みです。

## ② 旭川に立地を決めた理由

創業より地域創生と社員の故郷で働く場所を作ることとして経営をスタートさせておりますが昨今の社会情勢の変化により、リモートワーク、ワーケーションなど好きな場所で働くことが出来る環境が整いました。更にこの動きを加速させるため、代表が幼少時に楽しく遊んだ旭川の地で故郷への恩返しとして、今後はビジネス創出のため駆け回りしたいと思い、拠点を出すことを決めました。

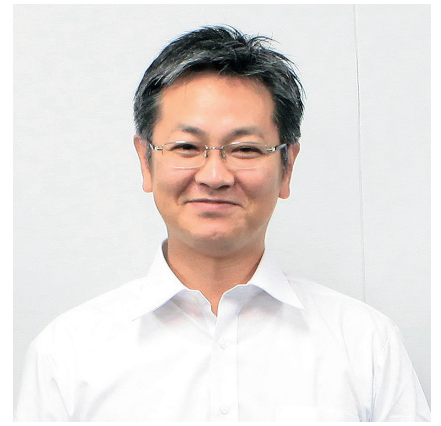
旭川は北海道第2の都市として北海道のほぼ中央に位置し、様々な魅力ある上川管内の地域とともに旭川空港、国道の延伸などのアクセスの良さ、人材の還流としても相応しい場所であると感じています。災害の少ない気候、データセンターなどIT業界との相性も良く人柄も優しく立地を決定しました。

## ③ 今後の展望

北海道を代表する人気都市である旭川市の強みをスピーディに世界に発信するクラウド/WEBサービス開発を行います。

創業後、北海道の地域創生に挑戦して得た実績とUターンした仲間たちと共にこの8年間で作った札幌・函館・室蘭・芦別にあるオフィス及び室蘭工業大学や千歳科学技術大学とのネットワークを生かして旭川発で一気には北海道発ユニコーン企業を目指します。変化の激しい世界で勝ち残っていくための重要拠点として地域と連携を強めます。

未来の旭川の子供たちが生き生きと働ける場所を作っていきたいと思います。



## 株式会社ビックボイス

代表取締役 佐々木 治郎

### 所在地

【本社】 東京都町田市中町1-4-2  
町田新産業創造センター3階

【旭川IoTコラボレーションセンター】  
北海道旭川市緑が丘東1条3丁目  
1番6号 旭川リサーチセンター2F

### 創業

平成24年10月

### 事業内容

Web系システムの社内受託開発  
／複数大学と研究開発  
／市役所や各企業向けHP制作  
／地域振興事業等

### 従業員数

48名



# 立地企業インタビュー

## ① 自社について

名古屋を中心に、独立系SIer/CIerとしてシステム開発、クラウドサービス事業を20年程行っております。

この地、旭川には、平成26年に、この先の人材活用を見据えて、システム開発のニアショア開発拠点第1号として進出いたしました。その後、従来より名古屋でお預かりしていたシステムを、自然災害リスクの少ない旭川でデータセンターとして預かることができないか検討を重ね、平成28年よりデータセンターを開設いたしました。昨今の働き方改革、DX(デジタルトランスフォーメーション)と経済活動を取り巻く環境は、目まぐるしく日々変化しており、データ量は益々増えていくばかり、そんな様々なニーズに応えるべく、クラウドストレージサービス「TRUNQ(トランク)」を行っております。

## ② 旭川に立地を決めた理由

旭川は、中部圏と空路で結ばれていることや、一定の都市規模・都市機能があり、必要とするシステムエンジニアやプログラマー職の人材確保の面で期待できること、市長をはじめとした市の方々から大変熱心に、旭川の魅力について説明を受けたこと、進出企業として、不安な事が多い中、様々な支援を得られることなどから立地を決定しました。

まず、人材採用を皮切りに、データセンター構築の準備室を開設し、システム開発業務と並行しながら検討を進める中で、電力、ネットワーク回線等のインフラの点も問題ないことがわかり、準備室の開設から2年かけ、旭川においてデータセンター構築を実現しました。

## ③ 今後の展望

現在、約30名を地元採用しています。我々の業界は技術の進歩が速く、常に新しい技術と知見を深める必要がありますが、旭川で働いているスタッフはまじめで勤勉であると感じており、これからも地元採用を計画的に増やせるようにと考えています。旭川市の人材育成研修は我々企業のニーズに応じた研修を開催してくれるので、そういった行政との協力関係を継続し、このまちに根付いた企業へ成長したいと考えています。



## 株式会社デジタルライズ

代表取締役社長 柴田 幸彦

### 所在地

【本社】 愛知県名古屋市名東区上社  
2-186 新東名ビル4F

【旭川事業所】  
北海道旭川市永山8条20丁目  
109-16

### 創業

平成13年3月

### 事業内容

ソフトウェア開発業務  
／コンピューターによる情報改善提案  
／インターネットによる情報提供  
サービス  
／データセンター

### 従業員数

50名